

**高齢者の方々を主役とした祭典  
「ねんりんピック」に選手派遣**

高齢者を中心とする、スポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典である全国健康福祉祭「ねんりんピック」。ファイナン財団設立の前年、1988(昭和63)年に厚生省(現・厚生労働省)創立50周年を記念して開始されて以来、毎年開催されています。

財団では、全国で開催されるねんりんピック大会への大阪府選手団の派遣事業を行っています。

『FINEおおさか』の誌面でも、「ねんりんピック」の開催情報や、大阪府選手団の活躍の

様子を紹介してきました。

1991(平成3)年の3号では「テニスで大阪が優勝!ねんりんピックいわて大会」と喜びの声を紹介。1994(平成6)年の10号では、前年に京都で開催された第6回大会の模様を巻頭カラーで伝えました。同じ近畿での開催ということもあり、大阪府からは全16種目1000余名が参加し、さまざまな競技を通じて交流の輪を広げました。

**史上最大規模の約70万人が参加  
「ねんりんピック2000大阪」**

「ねんりんピック」に関する取り組みとして

は、なんとといっても2000(平成12)年の「第13回全国健康福祉祭大阪大会 ねんりんピック2000大阪」でしょう。

「なにわから 未来にかける 長寿の橋」をテーマに、11月3日から6日までの4日間にわたって開催された大会は、20世紀最後を飾るにふさわしい、かつてない大規模な大会となりました。

全国からの約15・000人の選手・役員をはじめ、約70万人の参加者を数えたのは大会史上初。この参加者記録は、現在もまだ塗り替えられていません。3・000人を超えるボランティアをはじめ、大阪府民一丸となって大会を盛り上げました。

この大会の競技種目は23種目。府内13市1町で競技が行われました。

**38号では、「ねんりんピック2000大阪」を特集として紹介**

『FINEおおさか』の誌面では、2001(平成13)年の38号で特集として「ねんりんピック2000大阪」大会を紹介。

表紙にも大阪府選手団の入場のシーンをとりあげ、巻頭のカラージ3ページ、モノクロ5ページを使って、開会式の様子から主な種目とその出場選手をクローズアップ。また、同時開催の「第6回シルバーサービス総合フェア」「健康福祉機器展」、また「ねんりんピック」の世代間交流イベントである「音楽祭」など、関連イ



上/10号の第6回大会の特集  
下/3号に掲載されたテニス大会の記事



上/「ねんりんピック2000大阪」大阪府選手団の入場シーン  
左/同 音楽祭

